

まもなく、締切です。

第8回
アマチュア・アンサンブルの日♪
申込締切／4月27日(金)必着
今年もアマチュア・アンサンブルの日♪を開催します。AOIの舞台に立ちたい人、ふるってご応募ください。



2017.11.3 第7回アマチュア・アンサンブルの日♪ 撮影:日置真光

第13期
ピアニストのためのアンサンブル講座
受講生(ピアノ伴奏法講座)
申込締切／4月22日(日)必着
聴講生随時募集中!



漆原啓子(ヴァイオリン)、向山佳絵子(チェロ)、横川晴児(クラリネット)の各氏を講師に迎え、アンサンブルに取り組みます。今期はメシアン《世の終りのための四重奏曲》にも挑戦。

第19回
「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業
申込締切／5月31日(木)必着
静岡の音楽文化の創造的発展を目指して、静岡の演奏家・演奏団体の活動をバックアップし、協働してコンサートをつくりあげていきます。新鮮で意欲的なご応募をお待ちしています。



2017.10.14 第17回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業
テレメン没後250年 ピリオ楽器で楽しむバリ四重奏曲
撮影:日置真光



2018.1.27 第17回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業
アンサンブル アンズビレ 木管五重奏の愉しみ
撮影:日置真光

いずれも詳しくは各募集要項をご覧ください。
募集要項は静岡音楽館AOIのホームページからダウンロードできるほか、7階受付カウンターでご利用しています。
<http://www.aoi.shizuoka-city.or.jp>

学芸員雑記

静岡音楽館AOI学芸員 関本淑乃



アルベナ・ダナイローヴァについて

音楽の都ウィーン。モーツァルトをはじめ数々の作曲家を輩出しているこの街にあるのが、世界屈指のオーケストラ、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団である。毎年お正月にTVで放映されているニューイヤーコンサートでもおなじみなので、名前を聞いたこともあるのではないだろうか。その歴史は大変古く、1842年にまで遡ることができる。歴代の指揮者にはそうそうたる顔ぶれが並び、その中には作曲家マーラーもいる。かつてはメンバーは男性に限られ、女性が入団できるようになったのは1990年代に入ってからのこと。現在はコンサートマスターにも女性がいるが、それも最近で、「初の女性コンサートマスター」と話題になった。

その女性コンサートマスターがアルベナ・ダナイローヴァその人だ。ブルガリア出身で、音楽一家に育ち、5歳でヴァイオリンを始めた。ドイツで学んだ後、いくつかのオーケストラを経てウィーン・フィルへ。日本にも度々登場し、オーケストラのメンバーとして、また、ソリストとして、その活躍はめざましい。そんな彼女がこの5月、AOIに初お目見えする。実は満を持しての登場である。というのも、コンサートシリーズ2012-13でベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲のソリストとしてご出演いただくはずだったが、残念ながら都合により来日されなかったために、聴くことはできなかったのだ。今回、ようやくお迎えすることができるのは嬉しい。きっと心待ちにしていらっしゃる方々もいることだろう。

登場するのはヴァイオリンの名曲を時代ごとに聴いていただく「ヴァイオリンの潮流」シリーズ。2016年度よりスタートしたこの企画はバロック時代、古典派と進み、今回はロマン派である。取り上げるのはサン＝サーンスの《序奏とロンド・カプリチオーソ》、フランクのヴァイオリン・ソナタ、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ第1番《雨の歌》の3曲で、3曲とも彼女が大好きな作品だそう。いずれも名曲ぞろいであり、ぜひとも聴いていただきたい。

AOI コミュニケーション ひろば お客様の声

打楽器のコンサートは初めてで、とても楽しく聴かせて頂きました。マリンバ、ビブラフォンのコラボが素晴らしくて驚きました。知らなかった世界へ誘って頂き、嬉しい一時でした。子ども達も良かったです。

(12/16 子どものためのコンサート 松倉利之「打楽器と遊ぼう!!」ご来場者より)

ご来場誠にありがとうございました。

打楽器のコンサートにはじめていらっしゃったというお客様がほかにも多数感想を寄せてくださいました。今後もこのようなお客様がひとりでも増えるよう、様々なコンサートをお届けしたいと思います。みなさまのお越しをお待ちしています。

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、平成30年度をもって退会をご希望のかたは、平成31年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員(2018年2月末現在)50名順

- (株)アオイテック
- (株)丸吉事務機
- (株)SBSプロモーション
- (株)メディア・ミックス静岡
- (株)タミヤ
- ジェイアール東海ホテルズ
- (株)戸田書店
- ホテルアンシア静岡

コンサートシリーズ2018-19

主催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静岡信用金庫

協賛 アイワ不動産HD

ホテル センチュリー 静岡

studio
FORUM

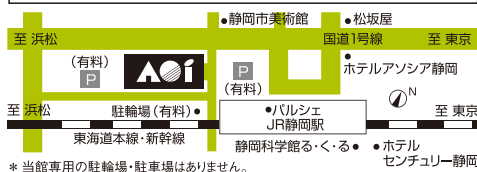
ANSHINDO



託児
サービス

要事前予約(1週間前まで)・託児料:1人1,000円
すわん Tel./Fax.054-255-5377
(火～金 10:00～15:00)
e-mail: swan@xqj.biglobe.ne.jp
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左



CONCERT HALL SHIZUOKA 静岡音楽館 AOI

月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館) 9:00～21:30開館

〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

お問合せ

054-251-2200

AOI 検索

AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌
MARCH 2018 No.89

春号

インタビュー

アルベナ・ダナイローヴァ(ヴァイオリン)

モイツァ・エルトマン(ソプラノ)

子どものためのコンサート

小川典子 ピアノ・リサイタル

速報 AOIのオープン・デイ 2018



インタビュー アルベナ・ダナイローヴァ (ヴァイオリン)

5月18日(金)にヴァイオリンの潮流Ⅲ「ロマン派のヴァイオリン」でAOIに登場する
アルベナ・ダナイローヴァさんにお話をうかがいました。

ー今回はブラームスのヴァイオリン・ソナタを核にロマン派の作品を、ということをお願いいたしましたが、C.サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ、C.フランク：ヴァイオリン・ソナタ、J.ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第1番《雨の歌》の3曲を選んだ理由を教えてください。

この3曲が心から好きなので、今回のプログラムに選びました。

ーウィーン・フィルのコンサートマスターに就任されて5年以上たちましたね。初の女性コンサートマスターということで注目度も高かったと思います。ご自身の中で興味深いエピソードがありましたらおきかせください。

2008年からウィーン国立歌劇場のコンサートマスターをしており、ウィーン・フィルの正式なメンバーとなったのは*、2011年でした。もちろん、思い出深いコンサートや作品、エピソードに溢れています。例えば、ニコラス・アーノンクールとのシュベルトの《未完成》、キリル・ペトレンコとのマーラーの《大地の歌》、マリス・ヤンソンスとのブルックナーの交響曲第7番とショスタコーヴィチの歌劇《ムツェンスク郡のマクベス夫人》・・・あとは、クリスティアン・ティーレマンとのヴァーグナーとシュトラウスなど、数えきれません。

ーオーケストラでの活動とソロ活動のバランスについてはどのようにお考えでしょうか。

私は毎日オーケストラで演奏していますが、オーケストラのレパートリーとオペラ作品を両方できるというのは何よりも大好きなことで、この仕事を誇りに思っています。ソロのコンサートやリサイタルの時は、それぞれの作品をどう演奏するかという独自のコンセプトを創り出さなければならないので、一人で練習する時間が増えます。オーケストラでも基本的なことは変わらないのですが、指揮者をリーダーとして一緒に演奏します。

ーお使いになっている楽器について教えてください。

ヴァイオリンは人間の声にもっとも近い旋律楽器なので、ヴァイオリンで歌い、さらには伴奏することも、和声的かつ多声的に可能です。たとえばヴィルトゥオージティ(技巧性)のある様々な作品を演奏する時は、温かさがあり、大きく華やかな音が求められますが、ヴァイオリンでそのような音を出すのは大変なのです。

ー日本にも何度かいらっしゃっていますね。

日本はクラシック音楽が非常に高い価値を持ち、ヨーロッパの音楽家たちをいつも温かく迎え入れてくれる場所です。素晴らしいコンサートホールがいくつもあり、音楽への敬意を感じられます。日本には色々な顔がありますが、伝統的な部分に関しては、これから学んでいきたいと思っています。産業技術は世界的にもよく知られていますし、日本の人々の変わらぬ友情や社会的友好にはとても好感を持っています。

ー日本でのお気に入りの場所や好きな食べ物など教えてください。

お寿司やすき焼き、しゃぶしゃぶが好きです。東京と福岡、それぞれのライフスタイルや建築物の違いといったものが興味深いです。他の都市はあまり知りませんが、京都と奈良はもう一度訪れてみたいです。

ー今後の活動について教えてください。

新しいソロの録音を考えています。今後は室内楽のコンサートが多く、ザルツブルク音楽祭でも演奏します。ブルガリアではヴァルナ国際音楽祭があり、イスラエルのほか、秋にはバーデン＝バーデンでソロのコンサートがあります。

ー最後に、コンサートにいらっしゃるお客様へメッセージをお願いします。

日本の皆さんのために演奏できることを、とても嬉しく思います。それぞれ異なる時代に作曲された多様な作品と、ヨーロッパにおけるクラシック音楽の伝統をご紹介できたらと思っています。

*ウィーン国立歌劇場管弦楽団の選抜メンバーがウィーン・フィル。ウィーン・フィルのメンバーとなるにはまずウィーン国立歌劇場管弦楽団員になる必要がある。

Albena Danailova

ヴァイオリンの潮流Ⅲ  ロマン派のヴァイオリン
アルベナ・ダナイローヴァ
ヴァイオリン・リサイタル

5/18 [金] 19:00 開演 (18:30 開場)
全指定¥5,000 [Pコード=344-103]
(会員¥4,500、22歳以下¥1,000)

曲目
C.サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 op.28
C.フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調
J.ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第1番《雨の歌》ト長調 op.78



加藤洋之(ピアノ)

インタビュー モイツァ・エルトマン (ソプラノ)

6月29日(金)に歌曲(リート)のプログラムでご出演くださるモイツァ・エルトマンさんにお話をうかがいました。

— 元々、ヴァイオリニストを目指していたとうかがいました。歌手としてやっていくことを選んだ理由を教えてください。

歌の個人レッスンを受け始めたとき、ヴァリオリンを通してよりも自分の声を通す方が、ずっとうまく自分の音楽的アイデアや感情を表現できるとすぐに感じたからです。今でもヴァイオリンを弾くことはありますよ。去年、セミプロのオーケストラに参加してチャイコフスキーの交響曲第6番《悲愴》を演奏しました。とても素敵なひと時でした。

— 今回のプログラムについて、聴きどころや特に思い入れのある曲などを教えてください。また、プログラミングのねらいについてもおうかがいできますでしょうか。

私は本当にメンデルスゾーンとモーツァルトのこれらの歌曲が大好きなのです。そして、これらの曲はあまり演奏されていません。A.ライマンの《オレア》についてお話しますと、アカベラの独唱です。2006年に彼が私のために書いてくれたのですが、とても感謝しています。自分の声のために特別に書かれた曲を歌うということは、大変な名誉であり素晴らしい経験です。その作品を演奏し、「命を吹き込む」最初の人間になるのですから。アカベラのこの4曲は、ハインリッヒ・ハイネの詩に基づいています。曲ごとに独自の性格があります。どれもとても色彩豊かで、中には非常に技巧的に高度な箇所もあります。彼は声を様々な方法で使っています。

— 歌曲に積極的に取り組まれていらっしゃいますが、歌曲の魅力はどんなところにあるとお考えでしょうか。意識として、オペラ・アリアを歌われるときと違いがありますか。

私がリート・リサイタルを愛する理由は、ピアニストと一緒に完全に音楽に集中することができるからです。衣装も演出もなく、アーティストと聴衆は音楽と歌詞に集中することができます。また、曲ごとに独自の風景があり、独自の小さな宇宙があります。そして誰もが自分の心の中に自分の演出を創造できるのです。また、オーケストラに負けないように声を張り上げなくてもいいので、リートを歌うことは、極めて弱音のピアノで歌える可能性を私に与えてくれます。

— 最近の活動について教えてください。

ズービン・メータ指揮のモーツァルトの《戴冠ミサ》のためにイスラエルに行きます。ベルリン国立歌劇場では、イェルク・ヴィトマンの歌劇《バビロン》をダニエル・バレンボイムの指揮で演奏します。ザルツブルクのモーツァルト週間、ダラス・オペラ、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団にも招待されています。これから取り組みたいのは、モーツァルト：歌劇《コシ・ファン・トゥッテ》のフィオルディリージ、《フィガロの結婚》の伯爵夫人、《ドン・ジョヴァンニ》のドンナ・アンナやドンナ・エルヴィーラ、ビゼー：《カルメン》のミカエラ、プッチーニ：《トゥーランドット》のリュウ等のリリックな役です。是非レパートリーに加えたいと思っています。

— 日本にも何度かいらっしゃっていますね。日本の印象はいかがですか。

日本人の親切なところが大好きです。とても特別に思えます。いつも大歓迎されていると感じられて、すべてがきちんと整えられています。京都に行ったことがあります。お寺や美しい景色のある京都がとても気に入りました。日本の食べ物では野菜が大好きです。特に枝豆は大好きです。

— 最後にコンサートにいらっしゃるお客様へメッセージをお願いします。

このリート・リサイタルを静岡で演奏できることは、光栄です。嬉しく思います。静岡がどんなところなのか、興味津々です。リサイタルでは美しい歌を歌いますので、皆さんにも私と同じくらい気に入っていただけることを願っています。



© Felix Broede

世界の歌姫 モイツァ・エルトマン ソプラノ・リサイタル

～メンデルスゾーン
—モーツァルト—ライマンの歌曲～
リート

6/29 [金]

19:00 開演 (18:30 開場)
全指定¥4,000 [Pコード=344-112]
(会員¥3,600、22歳以下¥1,000)

曲 目

F.メンデルスゾーン：

新しい愛 op.19a-4
二人の心が離れれば op.99-5
ズライカ op.34-4
恋する女が書き記す op.86-3
葦の歌 op.71-4
月 op.86-5
ズライカ op.57-3
歌の翼に op.34-2
初めてのすみれ op.19a-2
挨拶 op.19a-5
花束 op.47-5
春の歌 op.47-3

W.A.モーツァルト：

満足 K.349
すみれ K.476
寂しい森の中で K.308
魔法使い K.472
ルイーゼが不実な恋人の手紙を焼いたとき K.520
静けさはほほえみつつ K.152
歓喜に寄す K.53
春への憧れ K.596
ラウラに寄せる夕べの想い K.523

A.ライマン：

オレア



© Ben Ealovega

ロジャー・ヴィニョールズ (ピアノ)

6月に子どものためのコンサートで
AOIに登場する小川典子さんからメッセージが届きました。



皆さん、こんにちは！ 6月、静岡音楽館AOIでお会い出来ますね。
この演奏会では、皆さんをピアノ世界旅行にお連れいたします。
旅のはじめは、クラシック音楽が盛んなドイツ、オーストリア。小学生でヨーロッパ中を演奏旅行した天才モーツァルトの〈トルコ行進曲〉と、厳しいお父さんの元でピアノを学んだベートーヴェン〈エリーゼのために〉、やさしい人柄のシューマン〈トロイメライ〉です。次の東欧では、同じ時代を生きたピアノの名手リストとショパンの代表作をお聴きください。パリの香りたようドビュッシーは、私が大好きな2曲を。そして胸に迫る悲しいロシアのメロディをラフマニノフでお届けします。地球を東回りに飛ぶと、ロシアの次は日本！ 武満徹の名作〈雨の樹 素描Ⅱ〉はミステリアスで美しい音色。私が住んでいるイギリスから、皆さんも良くご存知の〈愛のあいさつ〉。そして、音楽の世界旅行さいごはアメリカ、ジャズを楽しめるガーシュウィンで締めくくります。どうぞお楽しみに！

※静岡音楽館AOIでのコンサートでは、客席に座ってご鑑賞いただけます。

子どものためのコンサート

小川典子 ピアノ・リサイタル ～ピアノで、時を超える世界旅行～

6/16[土] 15:00 開演 (14:30 開場)
全指定¥2,500 [Pコード=344-109]
(会員¥2,250、22歳以下¥1,000) 親子券¥3,000
※3才児よりご入場いただけます。(チケットが必要です。)

曲目
ドイツ・オーストリア 
W.A.モーツァルト：トルコ行進曲 K.331 (300)
L.v.ベートーヴェン：エリーゼのために WoO.59
R.シューマン：トロイメライ (夢) op.15-7
東欧 
F.リスト：ラ・カンパネッラ (鐘) S.141-3
F.ショパン：スケルツォ第2番 変ロ短調 op.31
フランス 
C.ドビュッシー：水の反映、運動
ロシア 
S.ラフマニノフ：ヴォカリーズ op.34-14
日本 
武満徹：雨の樹 素描Ⅱ
イギリス 
E.エルガー：愛のあいさつ op.12
アメリカ 
G.ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー



©武藤章

速報 AOIのオープン・デイ 2018

8/4(土) 10:00～20:00 会場 静岡音楽館AOIホール、講堂 ほか

今年の夏も「AOIのオープン・デイ」を開催いたします。さまざまな催しをご用意して
みなさまのお越しをお待ちしています。ぜひAOIへ足をお運びください。



8月21日は「県民の日」

お申し込み方法等
の詳細は後日ちらい、
ホームページ等で
ご案内いたします。

モーツァルト 名曲のタベ 「静岡の名手たち」アンサンブル **要申込**

18:00 開演 (17:30 開場) *20:00 終演予定 ホール(8階)

出演 野平一郎 (指揮)、嶋田慶子 (ソロ・ヴァイオリン/コンサートマスター)

「静岡の名手たち」アンサンブル

小川亜希子、京極朔子、小杉結、沼野朱音、萩原嘉乃、増田訓子 (ヴァイオリン)、

生駒宗煌 (チェロ)、山西貴久 (コントラバス)、富田真由香 (打楽器)

荒井友美、河西絢子、加藤えりな、谷口亜美、対馬裕美、外園萌香、吉原葉子、山村妙子 (ヴァイオリン)、

岡さおり、阪本奈津子、鈴木香奈江、瀧本麻衣子、御法川雄矢、山田那央 (ヴィオラ)、

河崎尚美、河野文昭、佐古健一 (チェロ)、田中洸太郎、新納益夫 (コントラバス)、

荒絵理子、大植圭太郎 (オーボエ)、向後崇雄、田吉佑久子 (ファゴット)、石山直城、今井仁志 (ホルン)、

栃本浩規、松山萌 (トランペット)



曲目 W.A.モーツァルト：ディヴェルティメント 変ロ長調 K.137 (125b)

ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》イ長調 K.219

交響曲第36番《リンツ》ハ長調 K.425

定員 600人 (全自由・要申込・多数抽選)

*未就学児はご入場いただけません。託児サービスはありません。



AOIの舞台裏をのぞいてみよう！

はじめてのAOI **要申込**

舞台袖や楽器庫などを、静岡音楽館AOIのスタッフが
ご案内します。

*コンサートとセットではありません。

①12:30～13:15 ②13:45～14:30

定員 各25人 (要申込・多数抽選)

入場無料・申込不要・出入自由！

パイプオルガン、やってるよ♪

10:30 開演 (10:00 開場) *12:25 終演予定 ホール(8階)

演奏中の
出入は
ご遠慮
ください



出演:曲目

10:30～10:55、11:30～11:55 新山恵理 (オルガン)

C.-B.バルストル：〈ラ・マルセイエーズ〉と行進曲〈サ・イラ〉

J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ (BWV147)

J.ウィリアムズ：映画「スター・ウォーズ」メイン・タイトル

久石譲：映画「となりのトトロ」より〈となりのトトロ〉〈散歩〉

菅野よう子：花は咲く (曲順不同)



11:00～11:25、12:00～12:25 吉村怜子 (オルガン)

M.-A.シャルパンティエ：テ・デウム

J.S.バッハ：フーガ (小フーガ) ト短調 BWV578

久石譲：映画「千と千尋の神隠し」より〈ボイラー虫〉

映画「魔女の宅急便」より〈海に見える街〉

A.メンケン：映画「美女と野獣」より〈ベル〉

L.ハーライン：映画「ピノキオ」より〈星に願いを〉 (曲順不同)

定員 600人 (全自由・申込不要・当日先着順)

そのほか、 ●ワクワク！ いろんな楽器にふれてみよう！ ●音と音楽のミニ・サイエンスショー
●あなたの楽器の無料診察室 ●ショップ・コーナー などを予定しています。

*都合により内容を変更する場合があります。

